

平成 25 年度第 4 回うらやす市民大学運営委員会議事要旨

- 日 時 : 平成 25 年 12 月 11 日 午前 10 時 00 分～11 時 30 分
- 場 所 : うらやす市民大学受講室
- 出席者 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、大村委員、寺田委員、永田委員、豊田委員、早坂委員、高柳委員、寛委員、伊藤委員
- 事務局 : 小檜山市長公室次長、村田協働推進課長、斎藤係長、岩波事務長、高梨主幹、森主事

■会議次第 :

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議 事
 - (1) 平成 26 年度授業科目編成について
4. 報告事項
 - (1) 市民大学学生会活動状況について
5. 事務連絡
6. 閉 会

■決定事項

- ・平成 26 年度授業科目 (17 科目) の了承を得た。
- ・次回新年度第 1 回運営委員会は平成 26 年 5 月下旬開催予定とする。

■議事概要 :

- (1) 平成 26 年度授業科目編成について

□事務局説明

○平成 26 年度カリキュラム編成検討報告

- ・これまでに 79 授業科目、述べ 2,004 名が受講し、多くの地域貢献や協働の担い手が誕生してきた。
- ・来期のカリキュラム検討にあたり、今一度、原点に立ち返りより質の高い授業を展開していくことに重点を置いた。

○カリキュラム編成の基本的視点

- ・大学事業の評価項目(市民参加・協働推進度)に貢献できる授業科目編成になっているか。
- ・重要分野(地域貢献活動)をカバーしているか。
- ・大学事業が維持可能な科目編成になっているか。
- ・各科目の位置付け(性質的分類)と内容が一致しているか。
- ・市民や学生ニーズが反映されているか。

○カリキュラム体系

- ・市民大学の学生が、ステップアップすることができる、カリキュラム編成を目指していく。
- ・「出会い」、「気づき」、「担い」科目群に位置付けて検討
- ・今後に向けて、市民活動・協働を実践するリーダー及び市民大学の講師の養成として、「担い手リーダー養成・研究」科目群について検討

○重点事項

- ・「担い手科目群」を中心に、協働授業（3 コマ程度）をシラバスに盛り込む。
- ・各授業科目のコーディネーターへのシラバス編成依頼時に、科目の位置づけ、成果目標、授業形態及び盛り込んでほしい内容等について、文章等により依頼する。
- ・授業科目制（出会い・気づき・担い）をより明確にするため、カリキュラムやシラバスに、メリハリをつけていく。
- ・担い手科目を中心に、小論文等の提出を求め、発表会やパネル展など、目に見える成果を示していく。
- ・担い手科目を中心に、科目修了生と既存コーディネーターが協力し合って授業を進めていく、協働（共同）コーディネーター制等を推進していく必要がある。
- ・一般市民も受講することができる特別公開講座（講演会）を増やしていく。
- ・現役世代の獲得には、関心や興味をひくシラバス内容の検討や特別公開講座を開講する。

○平成 26 年度開講科目について

- ・17 講座を予定しており、新規講座として、「経済講座」、「浦安のまちづくりとディズニー」を開講。

□主な意見

- ・授業の成果は、「市民に向けて」発表や展示会などの機会を設けるようにすると良い。
- ・募集要項に「出会い」、「気づき」、「担い」へ学生がどうつなげながら履修していったかを掲載するのも良い。
- ・どう「協働」を実践していくか、担当課とコーディネーターが議論していく必要があるのではないか。
- ・市民大学の広報については、学生の皆さんの口コミが大切になってくる。関心を持ってもらうためには、学生の皆さんが色々な場面で地域で活動し、声をかけていただきたい。
- ・公民館との垣根はだんだんなくなってきており、生涯学習の中の一つに市民大学があるのではないか。公民館でも積極的に協働を考える講座も出てきている。

□学生会活動報告

- ・学生会は学生が全員参加し、意思の疎通を図り、学生自身が市民に学生会や市民大学の話ができるようになっていくが大切である。学生会が主催し、イベントを開催していきたい。

次回新年度第 1 回運営委員会開催日程は、平成 26 年 5 月下旬開催予定。

以上